

おさめがわ村

No
152

平成30年5月

みんなの議会会だより

題字：鮫川小学校
3年 澤口 夏芽さん

泰斗跡地へ宅地分譲地着手

3月定例議会、臨時議会 …… 2~5

議会基本条例制定稼動 …… 6~7

一般質問に5議員登壇 …… 8~13

正々堂々! こども模擬議会 14~17

検証! どうなったつべあの一般質問 … 18

村民の広場 …………… 19

ふるさと鮫川への想い …………… 20

3月定例会

よし! ポク、がんばる!
(鮫川小学校・入学式)

分譲造成着手!

3月
定例会

11区画整備



森林再生・中山間多面的も継続

大型道路改良2路線計画



大樂勝弘 村長

3月定例会の あらまし

3月定例会が3月7日から13日までの7日間の会期で開催されました。
第1日目に、一般質問を行い5議員が登壇し、農業者収入保険制度、人口減少期の村づくりなどを取り上げ、村政をたどりました。また、村営バス条例の一部改正を含む条例10件、平成29年度補正予算8件、平成30年度予算10件、公の施設の指定管理者の指定9件、辺地計画の変更1件の提案理由の説明がありました。

第2・3日目に、総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会の合同議案調査を開き、第4日目の現地調査と共に議案を審議しました。
最終日に、審議した条例、補正予算、平成30年度予算、指定管理者の指定、辺地計画の変更を含めた38議案を原案のとおり可決し、請願1件を採択しました。議員発議を日程に追加した意見書の提出1件を可決し、閉会中の継続調査を許可して、閉会しました。

人が集まり、みんなが安心して暮らせる村づくりの予算編成

10会計の平成30年度予算総額は、41億9549万7千円、前年度比2億5408万6千円(5.7%)の減となっています。

「左表のとおり」

一般会計は、28億9300万円で、前年度比1億8700万円(6.1%)の減額予算となりました。新たな事業としては、さ

ざり荘増築工事、緑のふるさと協力隊事業、鹿角平観光牧場草地内維持補修工事、宅地分譲地造成工事、新型J・A・L・E・R・T受信装置設置工事、中学校トイレ改修工事、トイレセンサー循環浄化装置入替工事などが主なもの。財源では、村税など自主財源はほぼ同程度。東

日本大震災の復興関連予算が少なくなると共に、地方交付税は国の歳出総額が6年連続削減されたことから交付税・交付金の減額を見込んでいます。が、国県支出金の活用、財政調整基金・公有施設整備基金・福祉基金などの繰入の措置を講じ、第4次振興計画の基本理念「つながりで支え輝く村づくり」実現のための施策を進める予算編成となっています。

平成30年度
一般会計予算

注目!

待望の宅地

旧泰斗跡地に

この様に決まりました(新年度予算)

会計別	29年度予算額	30年度予算額	伸び率	
一般会計	30億8000万円	28億9300万円	△6.1%	
特別会計	国保	事業勘定 5億4125万3千円	4億3497万3千円	△19.6%
		直診勘定 6549万8千円	6623万1千円	1.1%
	簡易水道事業	1億1519万7千円	1億948万9千円	△5.0%
	村営バス事業	780万円	980万円	25.6%
	集落排水事業	3275万7千円	4378万2千円	33.6%
	介護保険	4億5813万円	4億8256万4千円	5.3%
	交流施設	1170万円	1640万円	40.2%
	学校給食	1億88万4千円	1億75万3千円	△0.1%
	後期高齢者	3636万4千円	3850万5千円	5.9%
	小計	13億6958万3千円	13億249万7千円	△4.9%
合計	44億4958万3千円	41億9549万7千円	△5.7%	



新年度の主な事業と予算です

	歳	出	
情報化推進事業	4342万3千円	鹿角平観光牧場草地内維持補修工事	108万円
さざり荘増築工事	3736万円	道路改良事業(村道江掘那倉線外1路線、 村道水口大沢線ほか)	1億2484万2千円
緑のふるさと協力隊事業費(1名)	220万5千円	宅地分譲地造成工事	3000万円
中山間地域直接支払制度事業及び 多面的機能支払交付金事業	1億1495万9千円	高校通学支援金	972万円
ふくしま森林再生事業	7700万2千円	中学校トイレ改修工事	651万6千円
県単林道事業林道東前田線舗装工事	924万2千円	トレセンプール循環浄化装置入替工事	561万6千円

条例改正をしました

村営バス条例の一部を改正する条例
村営バスの運行路線の起点を広畑から鮫川中学校北口に変更するとともに、運行距離、運休日の変更等の改正を行うもの。

村民保養施設条例の一部を改正する条例

さざり荘のカラオケ室を個室として利用し、カラオケ使用料を無料とするため、別表の一部を改正するもの。

請願を可決しました

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書
提出の請願について

- ◆ 請願者 東白川地区連合会 議長 小針 弘之
- ◆ 紹介議員 堀川 照夫
- ◆ 附託 総務文教常任委員会
- ◆ 審査の結果 採択
- ◆ 本会議 全員賛成で可決

意見書提出を、可決しました

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書
の提出について

- ◆ 提出者 関根 政雄
- ◆ 賛成者 前田 武久 外2名
- ◆ 本会議 全員賛成で可決

計画された事業計画を徹底調査!

議案
調査

鮫中トイレ改修など



新年度における新規事業と継続事業
併せて36事業を、各常任委員会による合同調査を実施
しました。

癒しと憩いの空間増設へ

さざり荘

保養施設「さざり荘」の休憩施設の増築計画を調査

文教常任委員会

クラウド移行作業委託の必
要性と内容は

情報データの維持管理費削減を目
的とした情報管理システムの移行

問 総合パンフレットの
内容は

答 10年に一度作成する村
政要覧や案内パンフレッ
トの制作費

問 防犯灯維持・設置費の
内訳は

答 新規防犯灯6基設置
電気料及び修繕費

問 小学校、中学校設備改
修工事

答 給水ポンプ減菌器交
換。中学校のトイレ洋
式化工事

問 鮫川スポーツクラブ
補助金

答 他補助金の減額で不
足が生じたため

厚生常任委員会

村民保養施設「さざり荘」改
修工事内容は

答 休憩和室の増築工事(約30名の
広間)

問 分譲住宅造成工事の
内容は

答 旧泰斗跡地への分譲宅
地造成(約12区画整備)

問 道路改良費は

答 水口大沢線、江堀名倉
線の大型改良

問 地球緑化センター負
担金

答 緑のふるさと協力隊1
名への負担金

問 ふくしま森林再生事業

答 森林再生の継続事業
(4年目)



水口大沢線改良工事



東白クリーンセンター最終処分場



ふくしま森林再生事業

臨時議会

第3回臨時議会は3月27日に開催され、移動通信用鉄塔設置及び管理、他の条例改正2件、平成29年度補正予算8件の10議案が提案され、全ての議案が原案のとおり可決いたしました。

など

地方交付税7587万円を追加

教育福祉施設整備基金に積立1億円



子どもの減少により、児童手当も400万円減額補正

3月臨時補正予算の状況

会計別	補正額	補正後の予算額	
一般会計	6139万8千円増	36億1145万6千円	
特別会計	国保 事業勘定	84万5千円減	5億1807万5千円
	国保 直診勘定	0	6350万6千円
	簡易水道事業	112万5千円減	1億2363万8千円
	村営バス事業	150万4千円増	1210万5千円
	介護保険	21万6千円増	4億8724万7千円
	交流施設	4万2千円減	1519万2千円
	学校給食センター	255万9千円減	9610万2千円
	合計	5854万7千円増	49億9961万9千円

補正が行われた8会計。国保 直診勘定の総額は変わらず内容が変更された。

3月臨時補正予算の主な事業

歳 出	
教育施設整備基金積立	3302万円追加
福祉基金積立	3002万円追加
公有施設整備基金積立	3922万円追加
介護保険事務費 介護保険特別会計への繰出金	379万2千円追加
歳 入	
法人村民税 法人税割	277万3千円追加
地方交付税 特別交付税	7587万9千円追加
国庫支出金 公共土木施設災害復旧事業負担金	240万2千円追加

答 村長
水たまりの補修は済んでいる。トイレの表示と防犯カメラの設置は提案する。

問 北條利雄議員
質疑
新設された手まめ館の野外トイレの駐輪場の水たまりの補修はされたか。またトイレの表示が小さくて分からない。誘客する案内板が必要ではないか。

答 農林商工課長
水たまりはアクリル系のモルタルで約3mmくらいフラットになるように補修した。

答 総務課長
広報お知らせ版で各区の納税状況はお知らせしている。

問 前田武久議員
今年度の税率はどのくらいか。手まめ館のトイレの水たまりの補修方法は。

答 村長
住宅使用料の減額は入居者が減ったため。空き家を周知し、解消につとめる。児童手当の減額は転出による児童数の減少によるもの。

問 関根政雄議員
公営住宅使用料が423万円、児童手当が400万円の減額となっている理由は。

全員
協議会

と き め 規 範 を 示 せ !

地区懇談会の開催を再検討

村議会は平成25年に「議会改革特別委員会」を設置し、住民アンケートを実施し、「議会に対する村民の意識調査」をまとめました。また数多くの議会改革の検討事項を協議しましたが、「村民懇談会」や「議会基本条例の制定」は先送りとされてきました。さらに平成28年度より「議会モニター制度」を導入し、ご意見をお聞きしてきましたが、広く村民の声を聞く「議会報告会や懇談会」の開催を求める声も数多くあることから、「議会基本条例の制定」を視野に入れた協議を重ねた上で、議員提案にて条例化を目指すこととなりました。



・村民参加

全員協議会

条例原案の調査・協議及び提出議案の検討、決定

議会運営委員会

委員会にて条例案原案の調査及び協議

条例制定の流れ

特集

議会基本条例制定に向けて本格稼動

議員自ら襟を正し

情報公開



議会基本条例とは

議会のあり方を住民に対して宣言するもので、「議会の最高規範」です。北海道夕張市の破綻で、議会が機能を果たせなかった事を受け、議員自ら襟を正そうと隣の栗山町議会が2006年に制定しました。以来議会改革の柱として全国各地の議会が「議会基本条例」を制定し、現在は約800の自治体、市議会は60%、町村議会は31%の議会が制定しています。

近隣市町村では白河市、矢吹町、埴町が「議会基本条例」を制定しています。

議会運営委員会

議会の運営を円滑に行うため、議会の運営方法や開催日程の調整、議案等を審査する会議です。

全員協議会

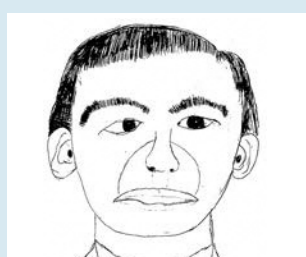
村政全般に関わる事項や、議会の運営に関する事項などを協議するため、全議員で行う会議です。村からの重要施策の説明を受けたり、議会の意見統一を図る場合など、必要に応じて開催される会議です。ただし法的な根拠がない会議なので、議案の「事前審議」にならないような注意が必要とされます。

定例議会

本議会への上程と
提出議案の説明・
採決(決議)

条例制定

議員 5人が登壇 スバリ!! 村政を問う!



(北條 佐弥さん)

北條 利雄 議員 P9

- ① 農業者「収入保険制度」
- ② 自殺対策計画策定
- ③ 自治体クラウド導入の方向性



(武藤 瑠那さん)

遠藤 貴人 議員 P12

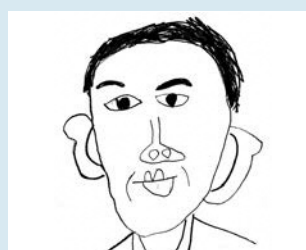
- ① 定住促進の住宅政策



(蛭田 真歩さん)

宗田 雅之 議員 P10

- ① 人口減少期における村づくり
- ② 温泉の振興策



(金澤 琴海さん)

前田 武久 議員 P13

- ① 石井草・叉石地区の水結道路解消
- ② 村民保養所と交流施設の併合
- ③ 一般質問の答弁修正



(関根 成吾さん)

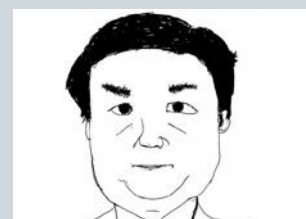
関根 政雄 議員 P11

- ① 公有住宅と公営住宅の利活用
- ② 生活道の日陰林対策
- ③ 鮫川村総合戦略プロジェクトの推進策

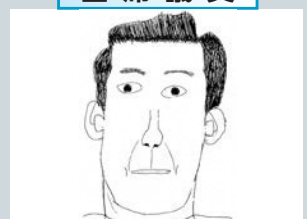


にがお絵は
鮫川小学校の
元気な4年生に
描いていただき
ました

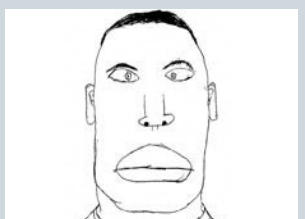
出席議員



堀川 照夫 議員
(矢吹 天響さん)



関根 英也 議員
(小林 穂乃香さん)



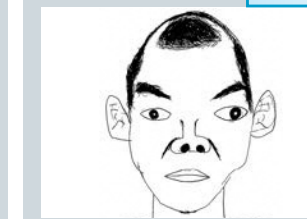
前田 雅秀 議員
(目黒 豪心さん)

議会の進行

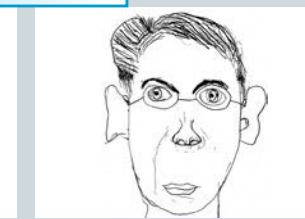


星 一彌 議長
(星 将貴さん)

答弁者

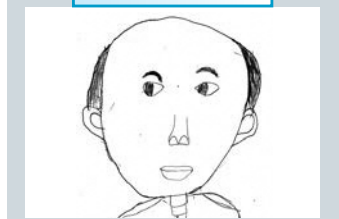


大樂 勝弘 村長
(藤田 歩夢さん)



奥貫 洋 教育長
(水野 紘さん)

出席者



白坂 利幸 副村長
(鈴木 千紘さん)



北條 利雄 議員

生きがい対策

問 生きることの包括的な支援の構築と取り組みを伺う

答 必要な時に必要な支援が届く地域づくりに取り組む

質問

自殺対策を巡っては、地域の実情に応じた自殺対策の計画作成が義務づけられ、主役は地方自治体が担っていくことになる。悩みを抱えた人が、速やかに問題を解決していただける地域社会を作ることが重要。その意味で自殺対策は、地域づくりと同じであり、生きることの包括的な支援の構築である。自治体が出来る対策には限界があり、協力機関とのネットワークの強化、民間団体の力、地域の力への対応が求められる。自殺対策計画策定と取り組みを伺う。

答弁(村長)

平成30年度に自殺対策計画を策定する。現在実施している関連事業や取り組みも、生きることの包括的な支援に位置づけられる。自殺に至るまでの経緯は複数

の要因が存在し、複雑に連鎖している。その状況に応じた適切な支援が必要。様々な施策、人々、組織が連携し、対策の一翼を担う意識を高め「必要な時に必要な支援が届く」地域づくりに引き続き取り組む。

問 農業者「収入保険制度」を伺う

意欲ある農家経営を支援する原動力に繋げる

質問

農業者「収入保険制度」は、自然災害、価格低下などの収入減少を補てんする仕組み。青色申告を行い、経営管理を適切に行う農業者(個人、法人)が対象。制度導入にあたって①農業青色申告者の現状と誘導方策や指導研修体制②経費の変動や生産費への考慮や改善方策、掛け金への助成や緩

和措置、類似制度との選択や整合性・均衡を伺う。



野菜は農家の大切な収入源

答弁(村長)

青色申告者は農家479軒の内27件(5.6%)。今後増加する青色申告者や法人化を希望する農業者には、経営管理能力の向上を図る指導支援を実施。基準収入は、規模拡大、面積収入要件など経営実態に即し補償水準が修正される。制度内容の改善点があれば要望する。掛け金は低い水準であり、

単独での助成は考えていない。収益性の高い農産物の大規模・多角化を対象とする制度であり、類似制度との選択が可能。意欲ある農家経営を支援する原動力に繋げる。

問 「自治体クラウド」導入の認識と方向性を伺う

郡内3町村で自治体クラウドの利用を始める

質問

「自治体クラウド」は、各自治体の庁内で保有・管理する従来の導入型システムに代わり、外部のデータセンターで保有・管理されているシステムをネットワーク経由で利用する仕組み。行政情報システムの構築・運用や事務の効率化を通して行政コストを大幅に削減する、住民サービスを向上させる

電子自治体の基盤になる技術。垣根を越えた円滑な連携や情報システムの調達・運用の合理化や、住民サービスの向上につながることで可能となる。「自治体クラウド」導入の認識と方向性を伺う。

答弁(村長)

次年度からクラウド化を図る事業費を計上した。住民基本情報、税務情報、国保、介護医療などの内部情報をクラウドに移行するもの。現段階では同じ供給業者を利用してはいる本村と棚倉町、埴町の郡内3町村で自治体クラウドの利用を始める。白河地方広域市町村圏内のクラウド化は、供給業者がそれぞれ異なっており、供給業者を超えたクラウド化の広域化は今後検討が進められることになる。

次のページは

一般質問

宗田雅之議員・関根政雄議員



宗田 雅之議員

人口対策

問 人口減少期における村づくりを伺う

答 交流事業、情報発信などに取り組む

質問

今後、急激に進むことが予想される人口減少、少子化、高齢化に対応した村づくりをどのように構築していくのか伺う。

答弁(村長)

これまでの田園回帰の取り組みに加え、関

再質問

係人口の増加を図るため、都市との交流事業の中での農業体験、特産品販売、大学連携、情報発信など、皆さんと共に取り組んでいきたいと考える。

再質問

住む人が減少する中で地域の維持、管理を

再質問

どの様にしていくのか。子供、若者の中にも、人口減少に伴う様々な問題を心配する声が大である。これらの声に応えていかなければ、村を離れて行く若者が増加するのでは。

答弁(村長)

農村景観を守るため、シルバー人材センターに今後も仕事を委託し、村を守っていく。

再質問

シルバー人材センターも高齢になり、また若者の減少に伴い、就労人口が少なくなる中で、効率的な組織を作ることも重要である。また地域に若者が減少する中で防犯、防災の対応、高齢者が増える中で介護施設の確保、就労人口の問題も考えられるが。

答弁(村長)

高齢者が住み慣れた地域で安心して老後を暮らせるよう、区長さん方の知恵を借り、見守りなどの体制づくり

を考えたい。また若い人たちにも選んでもらえる村づくりを腰を据えて考えていく。

問 温泉の振興策を伺う

答 上手に有効利用できるようにみんなで考えていく

質問

現在、大量の温泉が川に流出している湯の田温泉であるが、利用の仕方により、村おこしの一助になると考えるが。

再質問

温泉には、人を引き寄せる魅力があると考える。そこで、温泉付き分譲地を空洞化が進む、村の中心地に計画してはと思うが。

答弁(村長)

以前、検討委員会を立ち上げ、温泉資源を活用した新たな産業の育成など様々な施策を検討した。今後、事業主体、財源などの問題を考え、計画実行していく。

答弁(村長)

温泉付き分譲地は、大変いい話であると思う。以前、検討委員会です示された利用策と合わせて皆さんと検討していきたいと考える。



問われる人口減少対策



関根 政雄 議員

住宅政策

問 公有住宅と公営住宅の有効活用策を示せ

答 情報公開し、入居者募集に努める

質問

村は医師用住宅として越虫地内の住宅を取得した。さらにひだまり荘裏に住宅を新築したが現在は入居されていない。また中沢入り口の旧保養所の活用、公営住宅の空家の状況入居者への支援策は。

答弁(村長)

ひだまり荘裏の住宅は、医師専用の住宅として国の補助金をうけて

ているために一般の方には貸せない。越虫住宅は移住定住促進住宅で入居は可能である。中沢入り口の旧保養所はたんぼの家のグループホームとして要望があり、沿うように対応する。

村営住宅は61戸のうち5戸が空家。公営住宅の家賃設定には、子育て支援が織り込まれており、村独自で決定できるものではない。

再質問

越虫住宅は譲渡も考えているのか。

答弁(村長)

トイレの浄化槽を整備して入居者を募る。

再質問

村道の難所とされている石井草地内の日陰林解消で、山主(地権者)に要望と同意は得られているのか。

答弁(村長)

立ち木補償は1本1000〜2000円。伐採した木は林家で処分する制度なので反対はないが再度要望する。

推進する。

- ふるさと帰郷
- 短期滞在型移住体験
- 地域おこし商店
- 産業おこし特産品開発
- 温泉活用
- 鹿角平観光牧場宿泊誘致推進
- 環境公社、農村環境
- 小さな仕事づくり
- 移住定住向け住宅環境整備
- 子育て・教育支援
- 都市交流
- 住宅環境

以上の各プロジェクトを順次推進する。

再質問

総合戦略の各プロジェクトの達成には子ども達や若者・女性を含む村民参加が必要ではないか。

答弁(村長)

都市との交流を活かして姉妹都市となり、鮫川村の自然や農家の優しい心に触れあう事のできる事業を推進する。



有効活用が期待される公有住宅(渡瀬・越虫地内)

新年度の村道日陰林の計画と国道道について既に要望されている箇所と県の見通しについて尋ねる。

質問

現地を精査し事業を進める

問 日陰林の解消策は

答弁(村長)

要望箇所は中野区摺合、真坂。富田区中沢。東野石井草、芦ノ草地内の4箇所である。県道は発地岡から棚橋の500m。滑石から滝の200m。芦ノ草地内の100mの3箇所。県の担当部局とも相談し、対策を進める。

問 総合戦略の各プロジェクトの推進策は

答 各プロジェクトの指数実現に向けて取り組む

質問

総合戦略の基本理念として「子ども・若者・女性の自己表現ができる環境づくり」としているが、新年度の施策にどのように反映されているのか。

答弁(村長)

次の各プロジェクトを

次のページは

一般質問

遠藤貴人議員・前田武久議員



遠藤 貴人 議員

住宅政策

問

村有地を活用した
宅地整備の進め方は

答

子育て世帯に魅力ある
助成制度を検討する

質問

村内に家を建てたいとの要望が後を絶たないことを受け、村は村有地を活用した宅地整備を進めている。近隣では民間企業が同じように宅地造成を進めているが、今後どのような価値をつけて村有地の宅地分譲をしていくつもりか。

答弁(村長)

村では現在、赤坂西野字見渡地内に宅地の分譲を造成すべく、旧工場の解体撤去工事を行っている。この解体撤去工事の完了を待って、分譲地の宅地造成工事に入る。立地に関しては、棚倉町、浅川町への通勤通学、鉄道の駅や、こどもセンターにも近くて便利であることが挙げられるが、立地のみに価値を見出すことは困難である。しかし、鮫川村の

子育て支援の充実は多くの方が認めている。これに乗せする形で、分譲地の購入希望者に魅力を感じてもらえる助成制度を検討する。

再質問

様々な世代が顧客となり得るが、宅地造成を進める民間企業と価格な均衡を保つのか、それとも購入希望者に魅力ある提示をするのか。村の強みを活かす形でターゲットを明確にし、ターゲットに合わせた戦略が必要。幅広い客層の幅広いニーズを取り込む戦略では競争に負けてしまう。

答弁(村長)

村内に家を建てたいが土地がないという理由で村外に土地を求め、新築する若者が多くなっている。若者に



民間企業が村内に開発を進める住宅分譲地

残ってもらおう、あるいは戻ってきてもらうため、経済的な支援をすることで背中を押す。村が準備する分譲地に限らず、村内に土地を求めて居住を構える皆さんを支援できる仕組みづくりも必要。例えば村の分譲地を購入した場合、新築後の規定

年数経過にて土地購入代金を全額返還。また、民間の土地を購入する場合にも一定の金額を助成したいが、村の予算では限りがある。県が移住者や子育て世帯には手厚い補助を検討しているようなので、これらと合わせて効果的に進めたい。

再質問

持家を購入することは人生の覚悟の表れ。村の財源に限りはあるが、覚悟を決めた家族には県の補助等を有効に活用するべき。また、助成だけでなく、完成宅地の分譲であるなら、上下水道や電気等も整備済み。付帯工事負担の必要がないことを含め、積極的な宣伝広告が必要である。

答弁(村長)

泰斗工業跡地については、上下水道を布設し区画整理をする。土地を求めた方は建てるだけでよい。販売方法に対しては、企画に対する助言もいただきたい。



前田 武久 議員

村道整備

問 石井草・又石(さすいし)地区に 定置式凍結防止機設置を

答 日陰対策不解決の際には設置する

質問

村道新宿古殿線の又石地区を凍結防止策として昨年アメリウレタン工法が完成し、道路安全が期待されたが、2月4日の降雪依頼1週間後も氷結状態が続き、地域住民の生活が脅かされた。今後の対策を尋ねる。

答弁(村長)

2月4日の大雪の際、村の機械で午後一番で除雪したが、その後には降雪状況であったと報告があった。

再質問

住民からの連絡で、宅急便が登れない。勤務、急用者以外は下れない状況との事であった。状況把握はされたのか。

答弁(村長)

石井草には役場職員が2人いる。この工法は充分効果があると言っている。また現場で会った方に全く効果がない。日が当たればといわれた。

再質問

村有車載機の作業状況は。

答弁(村長)

1台は青生野地区へ貸し出し、残り2台は村道20路線を12月～3月迄、村と区長さんとで散布を実施している。

再質問

又石地区の散布状況は。

答弁(村長)

散布した記録がない。散布の有効活用を住民が望んでいる。散布量もおおぶ程度でなく大量に

手まめに疎くべき。

答弁(村長)

少量でなくこそり景気よく疎く。

再質問

定置式凍結防止機の設置を望む。

答弁(村長)

日陰対策を図る。

再質問

又石地区の南側山頂までの伐採は困難。解消されない場合はどうするのか。

答弁(村長)

議員提言の定置型を設置し、安心安全を確保する。



除雪6日後の又石地内の道路状況

問 さざり荘に宿泊施設を

答 宿泊施設の考えはない

質問

さざり荘の新年度の増築計画を機に多くの村民が臨む宿泊施設運営を図るべき。ほつとはうすは開所以来財政負担を強いられ、前年度の質疑の答弁でも29年度の経営状況次第で閉館を示した。この施設の宿泊業務を、さざり荘へ併合し、豊富な温泉利用と周辺地域の活性化を進めるべきと思うが。

答弁(村長)

ほつとはうすは都市との交流が目的で、今年は県内、村内の客が増えた。30年度は老朽化した施設人件費の増を図る。

再質問

ほつとはうすの運営継続は村民の意向に沿わない。さざり荘宿泊業務構想は、当初10数人程度収容の規模で前庭駐車場を

立体化すれば、敷地確保と予算も節約できる。

答弁(村長)

民間の宿泊施設がある。民間施設と充分共存できる政策の意思はなしと思われる。新年度の増築の内容は。

再質問

答弁(村長)

小部屋2間を合わせ28帖に増築する。

問 東前田団地の建物の処分制限期間の変更は

答 誤った認識であり、入居者にお詫びする。

質問

12月の一般質問の村長答弁が2ヶ月後に修正報告があったが。

答弁(村長)

借地契約は35年3月末満了で地主に返すと答弁したが、建物の処分期限が30年と判明した。問い合わせの入居者には説明した。修繕料は最後まで入居者は免除する。

次のページは

正々堂々、こども模擬議会

村づくりの提言

文化の継承をどう考えますか？

鮫川村こども模擬議会も今年で5回目となり、節目の年を迎えました。鮫川小6年生、青生野小6年生5年生の各議員が一般質問で村づくりの政策を提言し、大樂村長、奥貫教育長と活発な議論を交わしました。



緊張した表情のこども議員

活発な議論!!

積雪対策



舟木 玲王 議員

質問

先日、大雪が降って雪かきを行い、とても大変でした。鮫川村には高齢者だけの世帯がたくさんあります。鮫川村での対策があれば教えてください。

答弁 村長

村では15センチ以上の大雪が降ったときに村道などの除雪を行います。自力ではできない75歳以上の高齢者世帯等は、村と契約を結んでいるシルバー人材センターの方が、除雪機を使って除雪を行います。

再質問 中川 友愛 議員

除雪機を買ったら、私道の雪かきが楽になると思います。村から費用を出してもらえますか。

答弁 村長

村では基本的に個人が機械を買う場合、補助金は出していません。近所が助け合って作業するのが地域であります。小さな村ではお互いの助け合いが大事だと思います。

再質問 森 陽輝 議員

雪が降った際、強滝や塚本付近で、車が上がれなくなつて渋滞することがあります。安全に通行できる対策が必要だと思います。

答弁 村長

県は村とともに、スクールバスなどのバス路線を優先的に除雪しています。また、積もった雪や氷を解かすための融雪剤を撒く車を県で1台、村で3台配備し、事故の防止を図っています。

質問

トレーニングセンターのプールが温水プールになれば、高齢者の方も一年中使用することができ、村民の健康づくりに役立つのではないのでしょうか。

答弁 教育長

プールの温水化、さらにそれを維持していくためには大きなお金が必要です。お年寄りの健康維持のため、お金のことを考えながら検討したいと思います。

再質問 鈴木 七海 議員

トレーニングセンターのトイレは主に和式で、村の敬老会の際には不自由だと聞いています。早めに洋式化していただきたいと思えます。

答弁 教育長

平成17年度に改修工事を行い、男女トイレの1ヶ所ずつと多目的トイレを洋式化しましたが、数が少なく不便な思いをしている方がいます。トイレの洋式化を計画的に進めていきます。

プール整備



高野 恒誠 議員

第5回 鮫川村 こども模擬議会

正々堂々

とした



議会を進行する八木史奈議長



模擬議会

質問
青生野小学校は今年度で閉校です。閉校後、使わずに残しておくのは勿体無いので、手まめカフェ2号館として、地域の方や観光客の方に利用してもらおうのはいかがでしょうか。



藤田 紗輝 議員

青生野小の活用

答弁 教育長
プールの更衣室なので湿気が多く、消毒に塩素を使うため鉄は錆びやすいが、ロッカーについては早めに対応したいと思います。

再質問 石井 陸登議員
プールの更衣室のロッカーの錆びと、湿気が多くてジメッとしていることを改善し、快適に使えるようにしたいです。



藤田 友稀 議員

手まめ館運営

答弁 村長
都市部での暮らしをやめ、地方で暮らしを模索する人たちに向け、村の地域情報を発信したり、短期のお試し移住を働きかけるなどしてイターンを促進します。また、農産物などの地域資源の活用と、都市部への営業を強化します。

再質問 森田 遙麗議員

青生野小は人口の減少によつて閉校することになりました。村全体での人口減少を食い止めるためには、地域おこしをする必要があると思います。

答弁 村長
手まめ館2号館とする場合の、改修費用等の検討が必要となります。平成30年度に廃校利用検討委員会を設置し、調査及び審議をする予定となっております。

質問
手まめ館の営業時間が短く、仕事帰りの人が立ち寄ることが出来ません。営業時間を延ばせば買い物が出て便利になると思うのですが。

答弁 村長

カフェの営業は喫茶店を目的としていますから、直売所の営業開始時間から1時間遅い時間に設定しています。早朝から営業できれば、お客様に喜ばれますが、お客様の早朝利用は少ない状況にあります。

再質問 我妻 凌議員

手まめカフェのパンは美味しくて気に入っているのですが、10時開店だと朝食に間に合いません。開店時間を早めていただけると、出来たてのパンを朝食に食べられるのですが。

答弁 村長

手まめ館は来店いただくお客様のために、夕方7時まで営業していたことがありましたが、6時以降のお客様が極端に少ないといったことがあり、現在の営業時間となっております。

危機管理



齊藤 麗愛 議員

質問
北朝鮮のミサイルが発射された際、近くにコンクリートで出来た丈夫な建物がなくて困りました。ミサイルに備えた防災対策は、どのように行っていますか。

答弁 村長

弾道ミサイルに対する対策は国が行っており、屋外にいる場合は近くの建物の中に避難する。建物がない場合は物陰に身を隠す。その後は村などの関係機関から出される指示に従って行動していただくこととなります。

再質問 須藤 百香 議員

東日本大震災と同じような震災が起る可能性があります。村にと言われている。村には、崖崩れや土石流の危険地域が多くありますが、どのような対策をとっていますか。

答弁 村長

村では、鮫川村防災関連ハザードマップを作成しています。このマップを利用することで災害発生時の迅速な避難を行うことができ、災害による被害の低減に有効となります。

文化の継承



生田目 早翔 議員

質問
民族資料館で縄文・弥生時代の展示は分かりやすかったが、昔の農具の展示は並べただけで分かりにくかった。学校での学習で利用しやすいよう、展示を整理しては。

答弁 教育長

民族資料館の展示物が、皆さんの学習の補助的な役割を担う事は大切なことです。さらに皆さんの役に立てるよう、説明書なども加えて参ります。

再質問 木村 光佑 議員

渡瀬の獅子舞の一部を、保存会の皆さんの御協力のもと再現しました。渡瀬の獅子舞は村の無形文化財に指定されていますが、今後どのように保存していくのか。

答弁 教育長

まずは、渡瀬の獅子舞の重要性を村民に知ってもらうこと。平成30年度事業で渡瀬の獅子舞の道具づくりを記録し、その衣装などを村の歴史民族資料館や公民館に展示することを計画しています。

再質問 芳賀 利哉 議員

私の自宅には農具倉庫があり、昔の農具などが残っています。各家庭には、昔の生活の貴重な資料となるものが眠っているかもしれない。調査すれば貴重な物が見つかるのでは。

答弁 教育長

今年度、調査の過程で、新たに東石区の古い文書を発見しました。このような事が今後予想されますので、私たちも情報収集に努めます。

観光対策



渡邊 咲来 議員

質問
村ではロードレースや、うまいもの祭りなどのイベントも行っていますが、鮫川村を訪れる観光客の推移はどうなっていますか？また、観光客を増やす具体的な取り組みを教えてください。

答弁 村長

鹿角平観光牧場、手まめ館の来場者、そのほかに春まつり、花火大会、うまいもの祭りのイベントを考慮すると、約5万人が鮫川村を訪れている。取り組みとして、東京鮫川会や東京都北区の区民を対象としたバスツアーの受入れを行なっております。

再質問 藤田 柁成 議員

鹿角平観光牧場内を通る道に、花や樹木を植えて並木道を作り、観光客を増やしてはいかがでしょうか。

答弁 村長

鹿角平を整備できない事情があります。鹿角平観光牧場は村の所有地の他に、多くの人が所有する共有地であるため、勝手に使い道を変更できないことになっています。

奨学金制度



緑川 凱 議員

質問
村の奨学金制度は、鮫川村に戻ってきて農業で10年以上働く人が免除されるようですが、その制度を利用した人は何人いますか。

答弁 教育長

鮫川村に居住し、かつ村内において農林業に従事した者で10年を経過した者は奨学金の返還を免除するとなっております。この制度を利用している方は現在1名です。

再質問 我妻 佑作 議員

医師や歯科医師などの資格を持った人が鮫川村に帰ってきた場合にも、奨学金の返済免除にすれば、医師不足解消に効果があるのでは。

答弁 村長

村では医師不足等の解消を図るため、平成27年度から医師、保健師、看護師、管理栄養士、社会福祉士の資格を取得し、村内に就業した方に対しても、10年を経過した方は奨学金の返還を免除することとしています。

村を支えていく人になることを願う

村外から単身赴任で鮫川村で生活している私は、鮫川村のすばらしさをよく子どもたちに話をしてきました。こども模擬議会に参加し、鮫川村の未来について、いっしょに考えることができうれしく思います。

「体育の水泳の授業やスポ少で利用しているトレセンの設備の改修」、「さめっ子フェスティバルで披露した渡瀬の獅子舞や奥州鮫川太鼓など村の伝統・文化財の保存について」「祖父母といっしょに雪かきをして大変だったから何とかしてほしい。」など子どもたちが提案した意見は、子どもの目線から考えた納得させられるものばかりでした。

自分達の村をよりよくしたいと真剣に考える姿や堂々と意見

を主張したり、議会を進行したりする姿に子ども達の成長を感じました。

村長さんや教育長さんには、子ども達の質問に一つ一つ答えていただき、一人一人の子どもの思いや願いを大切にしてください。答えていることがよく分かりました。答弁の中で、村としての対策・対応だけでなく、子ども達自身ができることも提案していただき、自分達が自ら行動し、村をよくすることもできることに子ども達は、気がついたようです。

十年後、二十年後、子ども達が立派な大人になったとき、こども議会での経験を生かし、鮫川村を支えていく存在の一人になることを願っています。



鮫川小学校
生徒指導主事
長場 祐介 先生

よい村をつくるのは自分達!



我妻 幸子さん

体験が人生の 大きなプラスに

孫の、こども模擬議会が見たくて議会議室に入室すると、個々の名前が黒い木札に記入されており、こども達も緊張している様子でした。子ども達一人ひとりが緊張しながらも、はつきりとした口調で村長さんや教育長さんへの質疑が堂々としており、子ども達の村政に対しての質疑は家族の一家団欒が垣間見られて、家族との話し合いの中から村政への質疑が上げられたと思えました。

子ども達が村政に対して質疑や提案を緊張しながら体験したことが、人生の大きなプラスになった事を知れた、こども模擬議会傍聴でした。

孫達の成長を感じた

授業態度がうかがえた、こども模擬議会。議場での背筋を伸ばした素晴らしい態度、議長に指名された際の返事、スムーズに議事を進める議長役。村長さん、教育長さんの答弁をメモを取りながら真剣に聞こうとする様子。これらの全てが孫達の成長を感じた一時でした。

こども模擬議会を傍聴して、先生の指導のもと、子どもながらも村政に関心を持ち、考える機会を得る事が出来た子ども達は、これから成長していく中で貴重な体験をする事ができ、未来につながっていくと思います。

これからも人と人の和、つながりの中から自分で考え、みんな話合い行動する大切さを感じてくれたら幸いです。



我妻 トシ子さん

追跡!

第9弾

過去の一般質問が行政に反映されているか、その経過を検証します。

どうなったっぺ? あの一般質問

【青少年広場整備】

質問・提言

降雨時後の青少年広場グラウンドの利用状況が悪い。今後の対策が必要ではないか。

平成27年 6月議会

答 弁

将来的には暗渠排水や表土の入れ替えを検討する。

経過及び結果

スポーツクラブが除草や整地等の整備補修をしているが、暗渠排水や表土入れ替えには至っていない。



早期な改良整備が待たれる青少年広場

【給食の無料化】

質問・提言

子育て世代への財政的支援の一環として、給食費の無料化の考えはあるか。

平成27年 3月議会

答 弁

実施に向けては過程が大事である。事業推進委員会を開き広く意見を聞きたい。

経過及び結果

教育委員会定例会、学校給食運営委員会で各委員から無料化の要望もないため、事業推進に向けての委員会の開催に至っていない。



検討を要する給食費無料化

【定住促進のための分譲地整備】

質問・提言

村有地、民有地を活用し、若者の定住や入村者を視野に入れた分譲地の整備を急ぐべき。

平成27年 3月議会

答 弁

様々な場所の状況を勘案しながら検討する。

経過及び結果

旧泰斗工場の跡地(村の所有地)に11区画の分譲を計画し、30年度内の完成に向けて建屋の解体工事が急ピッチで進められている。



完成が待たれる分譲宅地整備事業

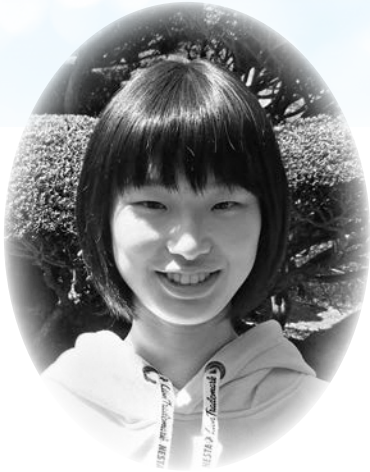
※定例議会での「一般質問」は議員の「政策提言」や、「村民の皆様の声」を村政に反映できる唯一の場となります。質問された「政策提言がどのように検討されているか」を根強く検証していく事としています。

村民の広場

私の夢シリーズ⑫

がんばれ!! 村の担い手

宗田 奈々さん (鮫川中2年生)



(大字東野字官代)

宗田一幸さん、和美さんの長女
ソフトテニス部で活躍中

素敵な女性になりたい!

私は将来、仕事がしっかりできる素敵な女性になりたいと思っています。しかし、なりたい職業は、まだ決まっていません。中学生になって本格的に勉強が始まったことで、将来の進路について強く意識するようになりました。そこで、中学校、高校生活は自分の夢を見つけ、その実現のために準備をする期間だと思うようになりました。そして、中学校生活を1年過ごしたなかで私は、仕事がしっかりできる素敵な女性になりたいと思いました。

将来、どの職業を目指すとしても、これから多くのことを学ばないといけないと思います。そして、社会では1人ひとりの行動が大切になり、たくさんの責任が必要となります。そのためにまず、毎日かかさず勉強し必要な知識をしっかりと学びたいと思います。そして、私が思い描く素敵な女性を現実のものにできるよう、これからも勉強や運動にしっかり励み、努力したいと思います。

村民の声

— 3月定例議会傍聴者アンケートより —

議会傍聴者からの一言

※各大字行政区長の皆様に議会傍聴をしていただきました。貴重なご意見ありがとうございました。

◆ 議員の発言内容は良く分かりましたか

- ・趣旨問題意識は感じられる。
- ・各議員質問に村を心配している事が分かった。
- ・現実問題として村と各議員、各区が一体となり取り組みをして行くことが大切だと思う。
- ・前半の質問の農業問題は農家でないので興味が湧かなかった。

◆ 答弁者(村長・教育長)の発言はわかりましたか

- ・むずかしい答弁があるのも事実です。
- ・難しい質問が多いと思うが、若者が定住できる村の環境づくりを是非頑張つて欲しい。
- ・人口減少、少子化については議員の方々も後継者がいないのでは。

◆ その他の感想をお聞かせください

- ・政策や制度改正など、普段から気にかけてほしいと聞かれないと再認識した。
- ・村民の代表です。皆様のご活躍をご期待申し上げます。

議会傍聴をお待ちいたします

6月定例議会は6月上旬の予定です。

ふるさと鮫川への想い シリーズ②⑧

新たな時代への挑戦 故郷鮫川への想いを糧に

東野分校を含む鮫川小、鮫川中の同級生と一緒に学んだこと、及び鮫川という都会では味わえない故郷があることが、警察官という職業の大きな支えとなってお

ります。幼少期に、鮫川の緑豊かな野山を駆け巡り、蛙の合唱を聴きながら満天の星を眺めたり、澄み切った空気の中で動植物と共生できた

ことは、人生の宝物といえます。また当時は大黒柱が農繁期以外は出稼ぎに行くことは普通である中、「結い返し」など部落全体が助け合う精神で満ち溢れていたことも、社会人として人間関係を構築するうえでの柱となっております。

あれから50年、インターネットで情報を瞬時に共有できる時代となり、AIや自動運転など人類の利便性を叶える新たな産業が繁栄するなど世の中は激変し、時代の流れを背景とした新たな犯罪が発生しております。

今回ご縁があり「ふるさと鮫川への想い」シリーズを拜見させて頂きました。多くの鮫川村出身の人材が、村外でご活躍され、人口の減少と高齢化に悩む鮫川村を支える力強い応援団となっておられます。この力と知恵を結集して、新たな時代に対応できる人材を育成し、定着させることが肝要であると感じております。

人事異動

議会事務局長として斉藤利己さんに代わり古舘甚子さんが着任しました。女性初の事務局長として活躍が期待されます。



議会だよりへのご感想やご意見もお寄せ下さい。

【議会事務局】

0247(49)3115まで



有賀 広行さん
(大字東野字榎久保及び大房出身)
いわき市在住(単身赴任)

- ◆プロフィール
- 【生年月日】昭和33年6月17日
 - 昭和53年 3月 福島県立白河高等学校卒業
 - 昭和56年 3月 東洋大学工学部 応用化学化科卒業
 - 昭和58年 2月 白河電子工業(株) 石川工場退社
 - 昭和58年 4月 福島県警察官拝命
 - 昭和58年 11月 いわき中央警察署 五色町交番 福島署等第7警察署及び 県警本部勤務
 - 平成27年 3月 福島県警察本部警備課次席
 - 平成28年 3月 福島警察本部外事課 指導官兼次席
 - 平成29年 3月 いわき中央警察署 常警分庁所長 (現在に至る)

- 【家族】妻、二女(郡山市居住)
- 【趣味】旅行、ウォーキング

その中で感じることは、「組織は人」であり、「人は地域の宝」であります。如何に「人」を活かす組織を構築するか、仕事にやり甲斐と誇りを持ち働ける職場をつくれるかが鍵となっております。

現在私は、いわき中央警察署常警分庁舎所長という立場で防犯、交通等の関係機関団体の皆さんと心を一つにして、地域住民の安全・安心の確保に邁進しております。

退職後は「一期一会」を大切に、運命の出会いである同級生の皆様と親交を深めて、残りの人生を楽しみたいと思います。勿論、故郷鮫川村を応援しながら。

編集後記

里山に若葉が生え、柔らかな空気が春の香りを醸し出す。何気ない自然の営みが安らぎを与えてくれる。日一日と足音が遠く中で、爽やかな風にのせて、次世代の子供たちに贈りたい安らぎの故郷。編集委員一同、今年度も頑張ります。

(広報編集委員)